
僕のC++コーディングスタイル

易 翠衡 (@yicuiheng)
2021/6/21

1 コーディングスタイルに対しての姿勢

基本的に僕はコーディングスタイルに特別こだわりがあるわけではありません.しかし何かしら統一していた方がコードを読む側として情報量が増えるのでいくつかの規則を設けています.

基本的に以下の設定ファイルのもとで clang-format しています.

```
</> .clang-format
1  BasedOnStyle: LLVM
2  Language: Cpp
3  Standard: c++20
4  IndentWidth: 4
5  AccessModifierOffset: -4
6  SortIncludes: false
```

SortIncludes: false はインクルードの順番をヘッダファイル名の辞書順にソートしないという設定です.これはソースの順番に意味を持たせたい,というのと GL/glew.h などのようにインクルード順に制約があるためです.

2 名前

- ☐ 識別子は基本的に標準ライブラリに合わせます
 - ☐ つまり変数名は snake_case です
- ☐ 型名には _t という suffix を付けます

3 include の順序

制約がない限り以下の優先度で上から順番に include します

1. 標準ライブラリ
2. Boost ライブラリ
3. 他のサードパーティーライブラリ
4. 自分のプロジェクトのヘッダ

これは“悪さをしない順”です.つまり,自分のプロジェクトのヘッダのせいで標準ライブラリヘッダ内でエラーが起きる可能性はその逆に比べて大きいという考えがあり,そういったバグを最小限にするためにこの順番になっています.